

17 高階線形微分方程式

17.1 一般論

高階の微分方程式 ($y'', y^{(3)}, \dots$ 含む方程式) のうち y, y', y'', \dots が 1 次の項しかないもの, すなわち

$$y^{(n)} + p_{n-1}(x)y^{(n-1)} + \dots + p_2(x)y'' + p_1(x)y' + p_0(x)y = q(x)$$

の形をしたものを線形という。

特に, $q(x) = 0$ のもの, すなわち

$$y^{(n)} + p_{n-1}(x)y^{(n-1)} + \dots + p_2(x)y'' + p_1(x)y' + p_0(x)y = 0 \quad (17.1)$$

の形をしたものを同次線形という。

定理

$f_1(x), \dots, f_n(x)$ が (17.1) の (特殊) 解ならば, それらの線形結合 $C_1f_1(x) + \dots + C_nf_n(x)$ も (17.1) の (特殊) 解である。

定義

n 個の関数 $f_1(x), \dots, f_n(x)$ が次の条件を満たすとき, それらは線形独立であるという。

$$\text{条件: } C_1f_1(x) + \dots + C_nf_n(x) = 0 \iff C_1 = \dots = C_n = 0$$

\Leftarrow は常に成り立つから, 本質は \Rightarrow が成り立つことで, それは,

$$\text{条件: } C_1f_1(x) + \dots + C_nf_n(x) = 0 \text{ になるのは } C_1 = \dots = C_n = 0 \text{ のときだけである}$$

ということである。

線形独立でないとき, たとえば, $C_n \neq 0$ だとすると

$$f_n(x) = \frac{C_1}{C_n}f_1(x) + \dots + \frac{C_{n-1}}{C_n}f_{n-1}(x)$$

と, f_n が他の $n-1$ 個の関数の線形結合で表せる。

関数群が線形独立とは, その中のどの関数も他の関数の線形結合で表せないということである。

定理

- (1) (17.1) の解は, 線形独立な n 個の特殊解 $f_1(x), \dots, f_n(x)$ をもつ。
- (2) 線形独立な n 個の関数 $f_1(x), \dots, f_n(x)$ が (17.1) の特殊解のとき, (17.1) の一般解は, それらの線形結合

$$C_1f_1(x) + \dots + C_nf_n(x)$$

したがって, n 階の同次線形微分方程式を解くためには, 線形独立な n 個の特殊解を求めればよい。

解答

(1) $y'' - 6y' + 9y = 0$

$w = ye^{-3x}$ とおく

$$\begin{aligned} w' &= y'e^{-3x} - 3ye^{-3x} \\ w'' &= y''e^{-3x} - 3y'e^{-3x} - 3y'e^{-3x} + 9ye^{-3x} \\ &= (y'' - 6y' + 9y)e^{-3x} \\ &= 0 \quad \dots \text{基本形 1} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \therefore w &= C_1 + C_2x \\ y &= we^{3x} \\ &= (C_1 + C_2x)e^{3x} \end{aligned}$$

特性方程式は

$$\begin{aligned} t^2 - 6t + 9 &= 0 \\ (t - 3)^2 &= 0 \\ \therefore t &= 3 \quad (\text{重解}) \end{aligned}$$

(2) $y'' + 2y' - 3y = 0$

$w = ye^x$ とおく

$$\begin{aligned} w'' &= (y'' + 2y' + y)e^x \\ &= 4w \quad \dots \text{基本形 2} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \therefore w &= C_1e^{2x} + C_2e^{-2x} \\ y &= we^{-x} \\ &= (C_1e^{2x} + C_2e^{-2x})e^{-x} \\ &= C_1e^x + C_2e^{-3x} \end{aligned}$$

特性方程式は

$$\begin{aligned} t^2 + 2t - 3 &= 0 \\ (t + 3)(t - 1) &= 0 \\ \therefore t &= -3, 1 \quad (\text{異なる 2 実数解}) \end{aligned}$$

(3) $y'' - 4y' + 7y = 0$

$w = ye^{-2x}$ とおく

$$\begin{aligned} w'' &= (y'' - 4y' + 4y)e^{-2x} \\ &= -3w \quad \dots \text{基本形 3} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \therefore w &= C_1 \sin \sqrt{3}x + C_2 \cos \sqrt{3}x \\ y &= we^{2x} \\ &= (C_1 \sin \sqrt{3}x + C_2 \cos \sqrt{3}x)e^{2x} \end{aligned}$$

特性方程式は

$$\begin{aligned} t^2 - 4t + 7 &= 0 \\ \therefore t &= 2 \pm \sqrt{3}i \quad (\text{虚数解}) \end{aligned}$$

(特性方程式との関係)

特性方程式が二重解 $t = \alpha$ をもつとき

$y = (C_1 + C_2x)e^{\alpha x}$

特性方程式が異なる 2 実数解 $t = \alpha, \beta$ をもつとき

$y = C_1e^{\alpha x} + C_2e^{\beta x}$

特性方程式が虚数解 $t = p \pm qi$ をもつとき

$y = (C_1 \sin qx + C_2 \cos qx) e^{px}$